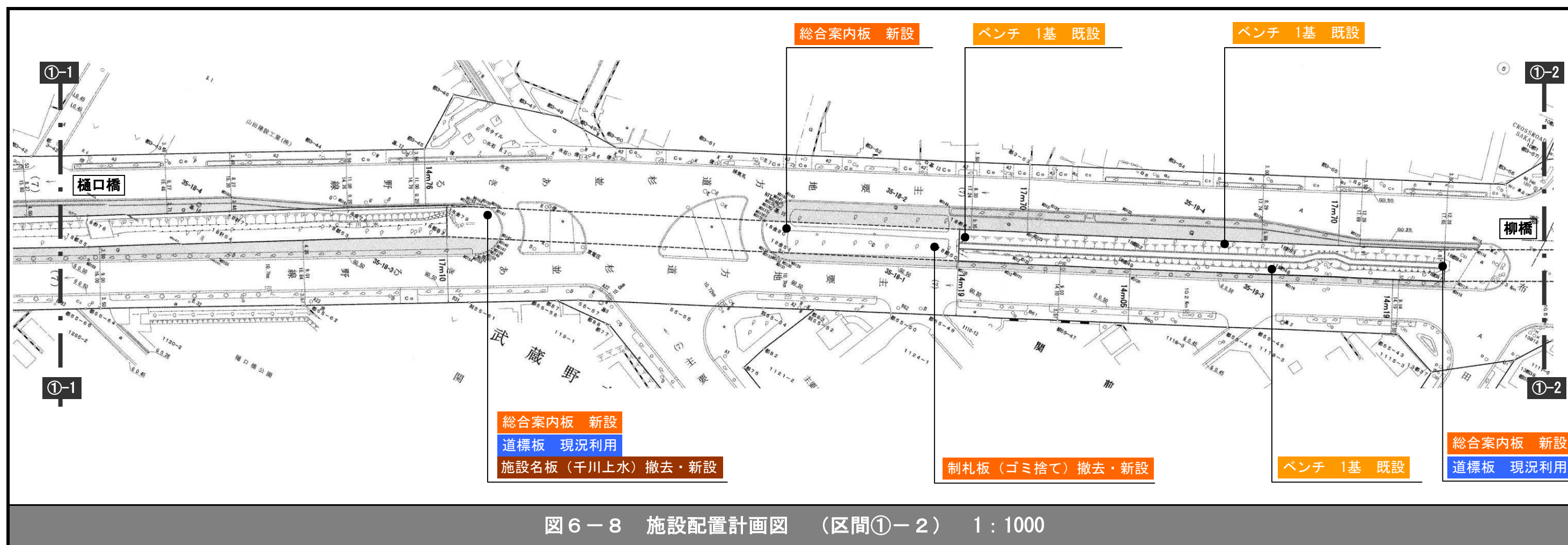
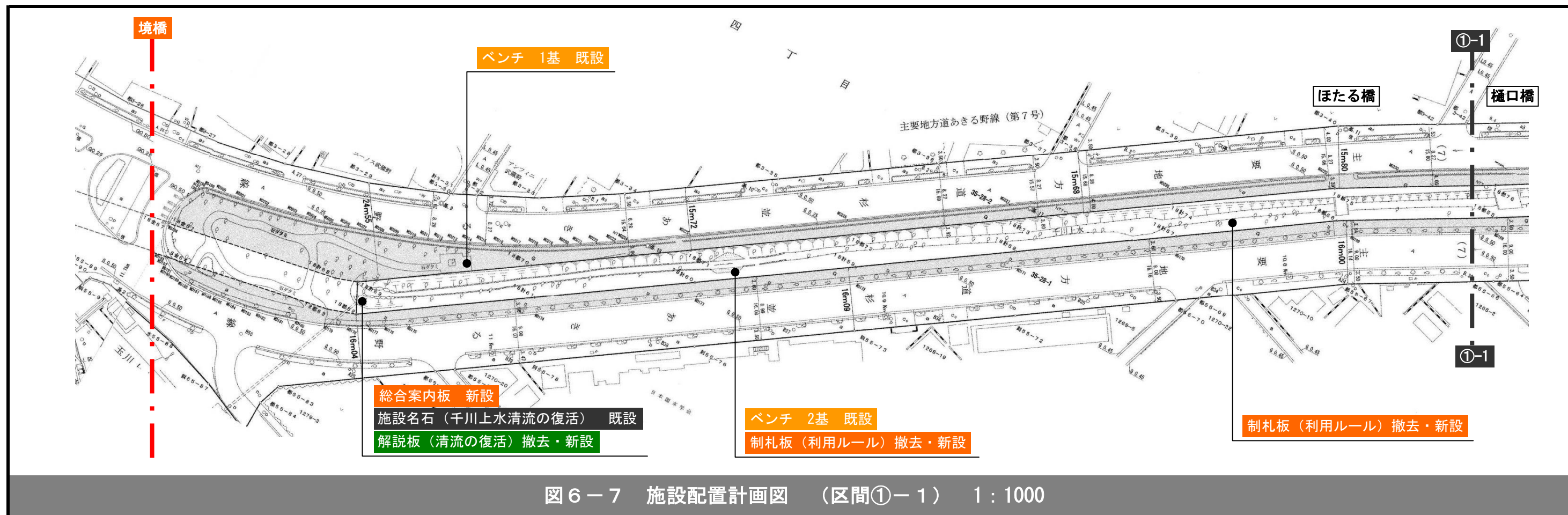




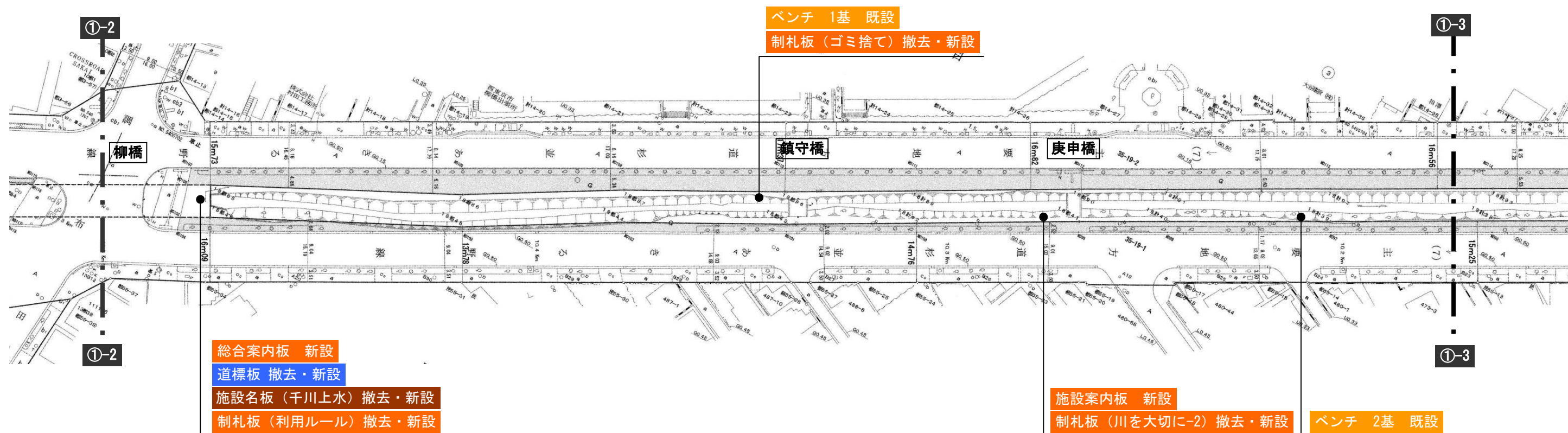


図 6-9 施設配置計画図 (区間①-3) 1:1000

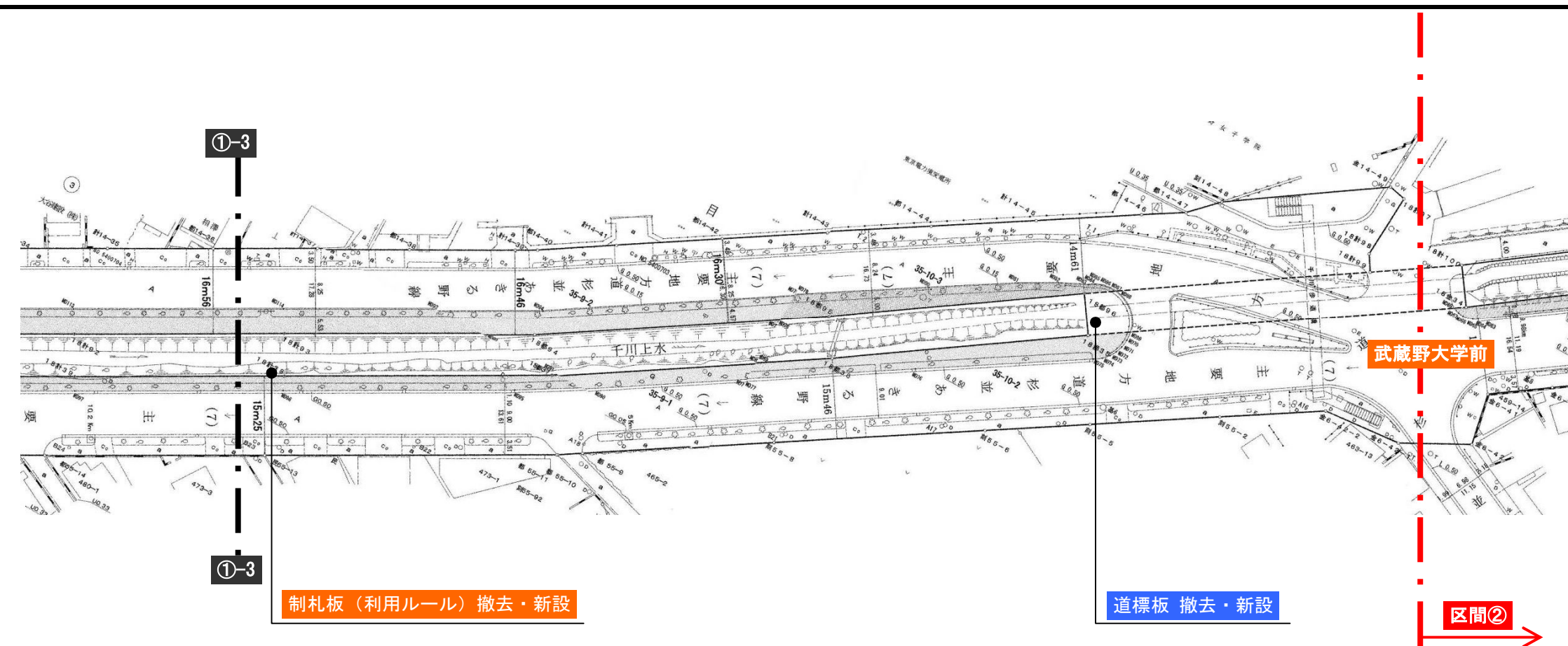
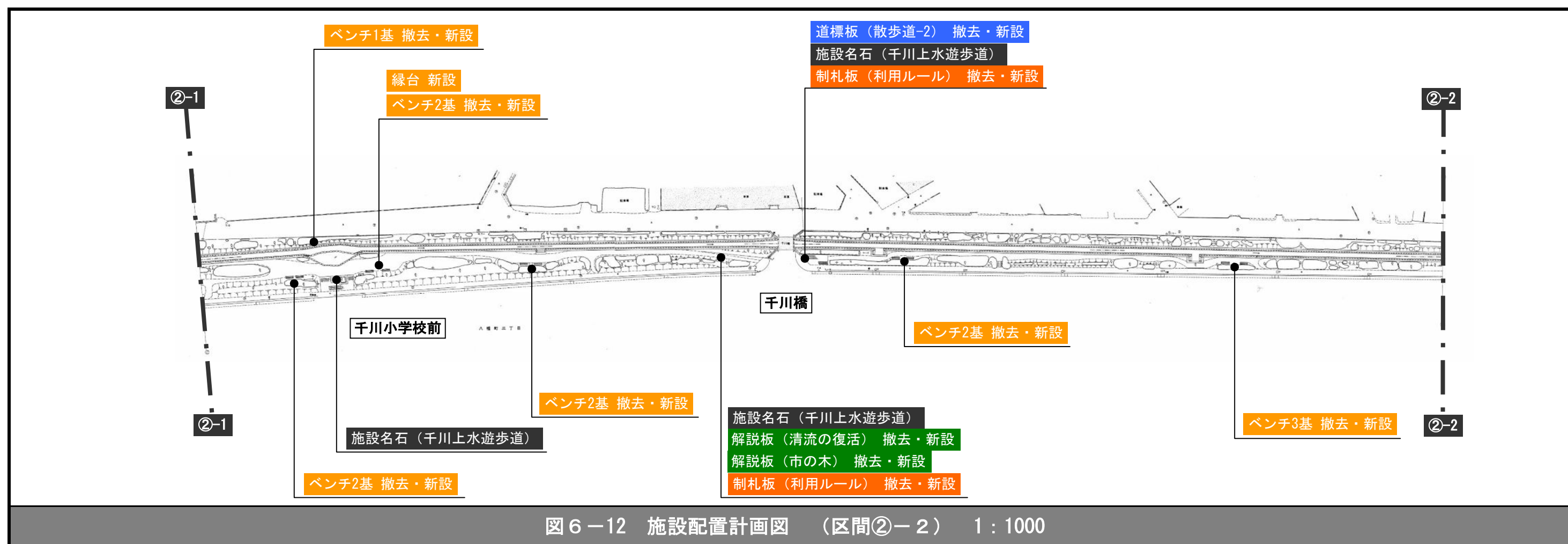
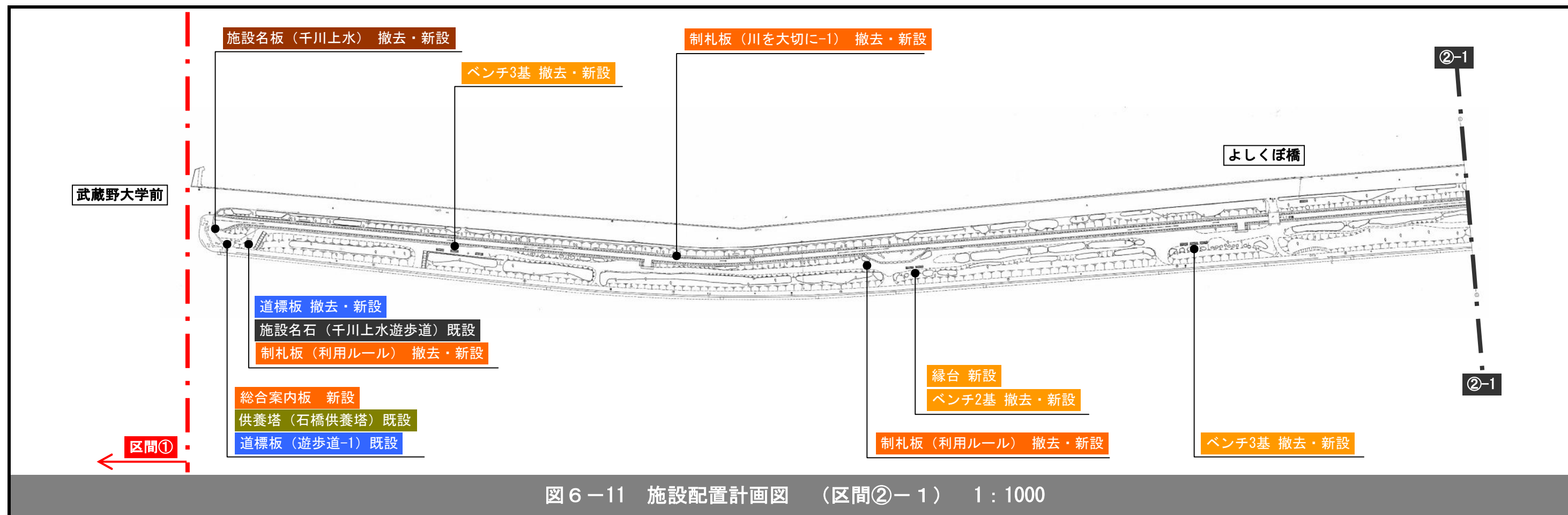
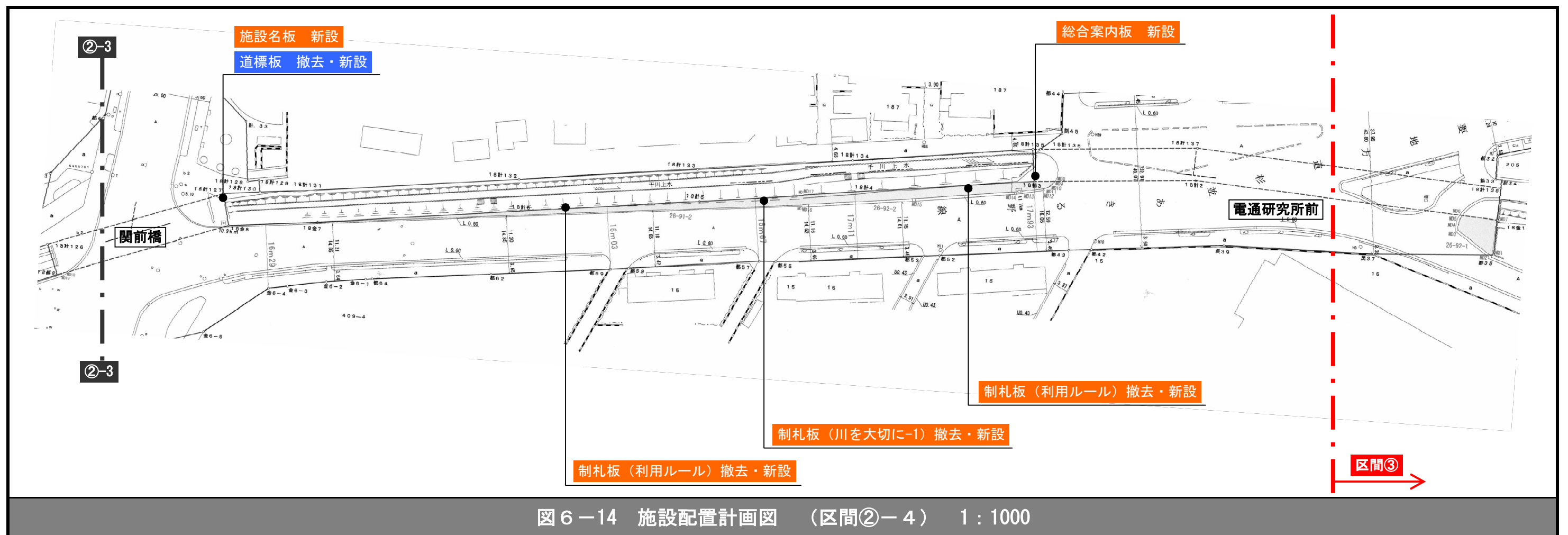
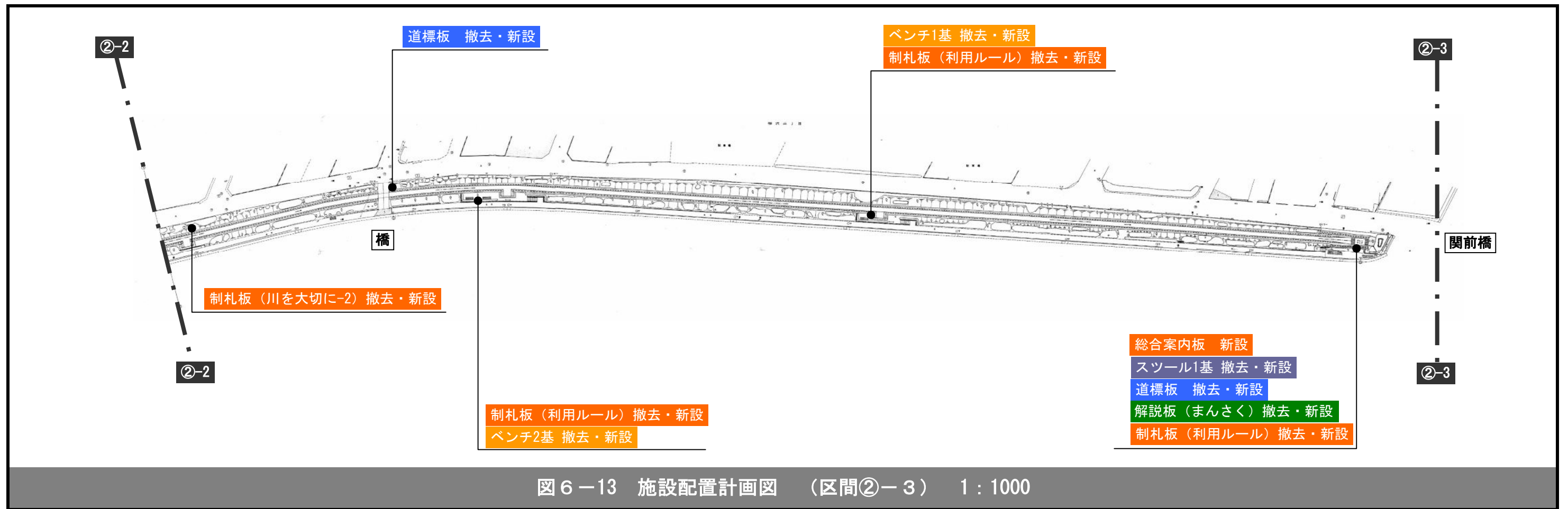
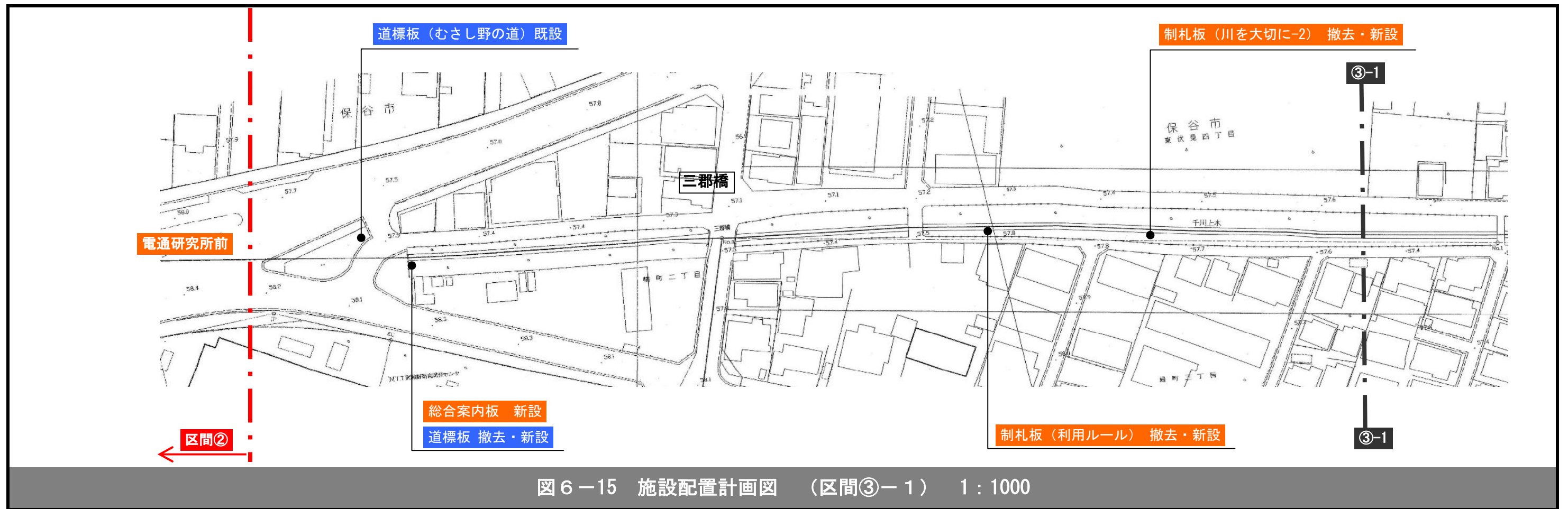
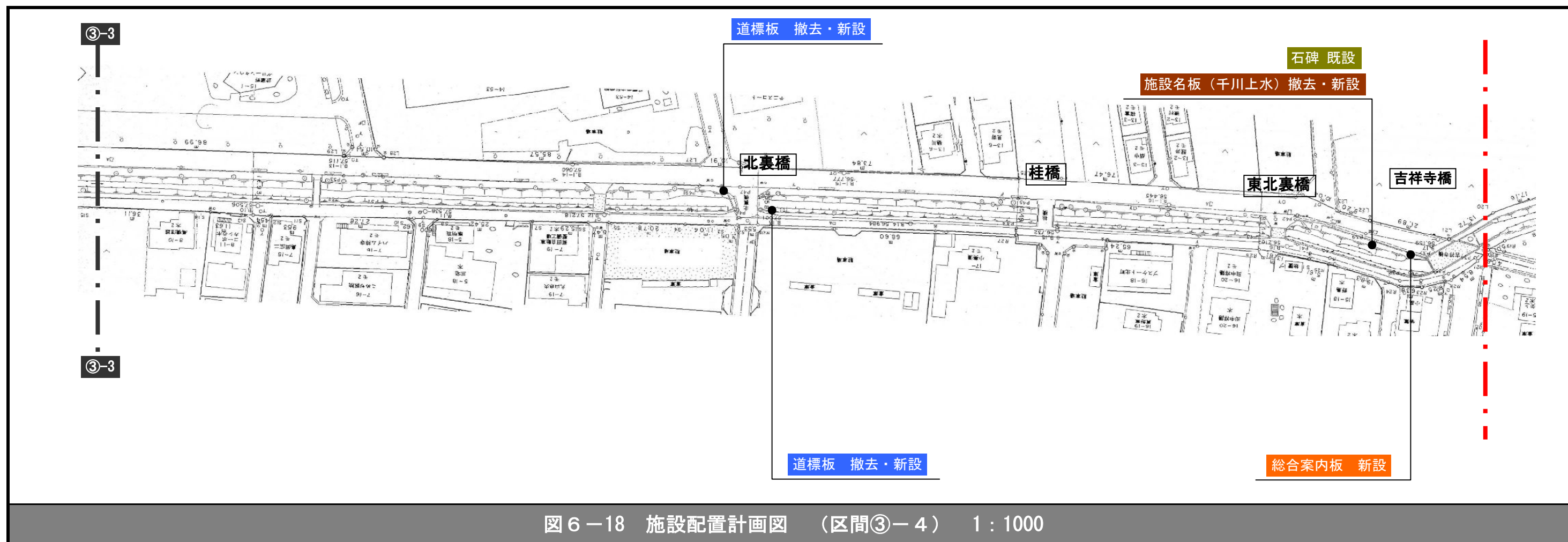
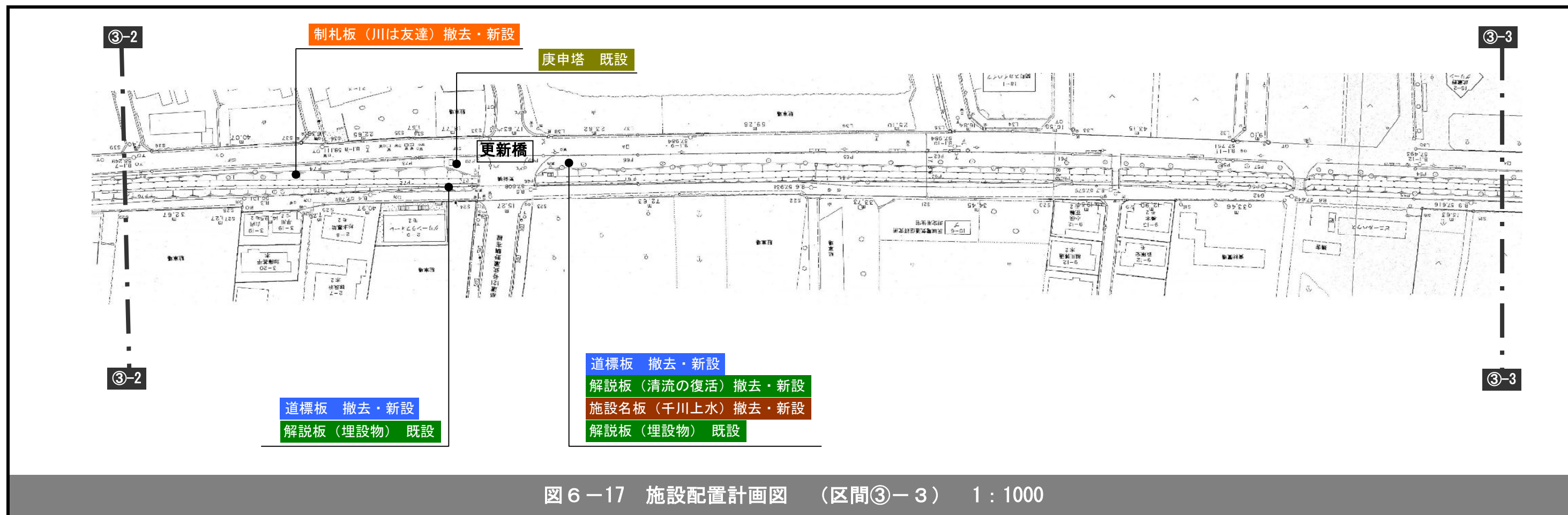


図 6-10 施設配置計画図 (区間①-4) 1:1000









7. 維持管理・利用計画

千川上水を安全に且つ快適に利用できるようにするためには、適切な維持管理が必要となる。

安全に係わる管理や専門知識・専門技術を有する管理は、従来どおり市が行う必要があるが、日常的な点検や清掃活動等については、利用者自らが行うことにより、地域に愛される千川上水として認識されるようになる。

また、住民参加型の維持管理は、協働活動を通じた地域コミュニティ形成に寄与すると共に、市にとっては利用者ニーズの把握や管理費の軽減に寄与することとなる。

利用計画に関しては、パンフレットの作成・配布やイベントを開催し、積極的な利用促進を図る必要がある。

千川上水で想定される維持管理については、表 7-1 維持管理計画 に、利用計画については、表 7-2 利用計画 に示した。

表7－1 維持管理計画

管 理 項 目				管理内容	回数	管理主体
維持管理計画	樹木管理	高木	剪定	繁茂した樹木の剪定	1回/年	武蔵野市
			枝下ろし	利用上の安全や樹木の生育上問題のある枝を切除する		
			枯損木処理	枯損木・病害虫等により樹勢悪化木を伐採・除去する		
		中・低木	刈込	園路にはみ出した枝や視線を遮る高さに伸びた樹木を刈込む	1回/年	
			枯損木処理	枯損木・病害虫等により樹勢悪化木を伐採・除去する	必要に応じて	
		病害虫防除		病害虫発生木に対して、規程等に基づいた薬剤散布等により処理を行う	必要に応じて	
	草地管理	除草		雑草を刈り取る	3回/年	武蔵野市・ 地域住民・利用者等
	工作物管理	定期点検	照明設備点検	保守点検	必要に応じて	武蔵野市
			水路等点検			
			休憩施設・デッキ等点検			
		日常点検	工作物安全点検	目視点検、破損・汚損箇所の確認	毎日	地域住民・利用者等
	清掃	園路・広場清掃	一般清掃	園路・広場のゴミを拾い集め、ゴミ集積場所まで運搬	毎日	地域住民・利用者等
		水路清掃	水面清掃	水面に浮かぶゴミ等の除去	毎日	
			スクリーン清掃	堆積した落葉やゴミ等の除去	3回/週	武蔵野市

表7－2 利用計画

利 用 項 目				利用内容	回数	運営主体
利用計画	一般利用			散策・休憩・通過等の日常的な利用	毎日	—
				千川上水全域を散策コースとして位置づけ、パンフレット等を作成することにより利用促進を図る	—	武蔵野市
	イベント利用	風景探勝等	花見・紅葉狩り	千川上水を散策しながら、開花している植物や紅葉している植物を探勝する	2回/年 程度	武蔵野市 地域住民・利用者等
			写生大会等	千川上水の風景を写生する	2回/年 程度	
		観察会	植物観察会	千川上水を散策しながら植物・昆虫・鳥類等を観察する	2回/年 程度	
			昆虫観察会			
			探鳥会			
その他	清掃イベント	地域住民に呼びかけを行い、落葉やゴミ等の除去を行う	2回/年 程度			

8. 今後の展望

地域により愛され、親しまれる千川上水とするための今後の展望をとりまとめた。

(1) 効果的・効率的な整備の推進

本整備基本計画においては、水と緑の環境を活用した散策や休憩の場、親水や身近な自然とのふれあいの場として、市民に親しまれるよう体系的な環境整備に向けた総合的な整備基本計画立案を行うとともに、現時点において整備を最も効果的・効率的に進めることのできるように整備内容や整備区間に対しての優先順位を設定した。

しかし、今後千川上水に隣接する開発や整備が計画された場合は、整備内容や整備区間の優先順位の見直しを行い、整備を進めることが必要である。

(2) 利用促進と利用者サービスの提供

「武蔵野市公園と緑のガイドブック」による5つの散策ルートのうち、千川上水は2ルートが設定されており、利用の促進が図られている。

今後、より一層の利用者の増加を図るために、施設整備に加えて千川上水の歴史、自然、景観スポット、季節毎の見所（草花）等を紹介するパンフレットやガイドマップの作成・配布やイベントの開催など重層的・総合的な検討が必要である。

(3) 住民参加型維持管理システムの構築

整備基本計画においては、千川上水を安全かつ快適に利用することのできるために必要な維持管理計画と利用計画を立案した。

また、より一層身近で愛される千川上水として認識されるように、管理主体においては、管理項目や管理内容によって地域住民や利用者等の任意団体の参画を提案した。

このように、地域住民や利用者等が気軽に参画することのできる、住民参加型維持管理システムの構築が必要である。